

平成 28 年度 相談体制部会 検討状況報告書

平成 29 年 3 月 22 日 更新

| 部会構成メンバー | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援センターふかさわ 江島 ・越路ハイム地域生活支援センター 齋藤 ・障がい者支援センターさんわ 佐藤 ・長岡療育園 西 ・障害支援係（長谷川係長、上山主査、木村、星野） ㊦障害者基幹相談支援センター（丸山、齋藤、松崎、石黒） ・障がい者支援センターあさひ 茨木 ・地域生活支援センターサンスマイル 名古屋 ・障害者支援センターこしじ 田代 <p style="text-align: right;">㊦…事務局</p> <p>※その他、障がい者支援センターほのぼの、相談支援事業所桜花園、相談支援事業所クオリード、多機能こどもセンター銀河、柿が丘学園、子ども家庭センターが情報共有のために参加。</p> | |
| 会議開催経過 | 議題・検討内容 |
| 【第 1 回】 平成 28 年 11 月 16 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・障害者基幹相談支援センターがおこなったヒアリング結果について情報共有（その①） ・今後の相談支援体制について検討 |
| 【第 2 回】 平成 28 年 12 月 16 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市の方針案に対する、各相談支援事業所の思いや考えについて情報交換 ・障害者基幹相談支援センターがおこなったヒアリング結果について情報共有（その②） |
| 【第 3 回】 平成 29 年 1 月 20 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・委託業務のイメージの共有と実際について意見交換 |
| 【第 4 回】 平成 29 年 2 月 17 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市の方針案に対して、どのような準備が必要か意見交換 |
| 【第 5 回】 平成 29 年 3 月 17 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画相談支援における現状と課題 ・計画相談体制の見直しについて |
| 取組 今年度の 方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市の相談支援体制の現状を共有する。 ・相談支援体制の現実と理想の差を縮めていくためにはどのような相談体制がよいのかを検討していく。 ・相談支援体制の課題のうち、優先度の高い計画相談支援について、業務の整理をおこなうためのワーキングを実施する。 |
| （全体会・運営会議へ特に報告が必要な内容） 進捗・成果 | <p>【第 1 回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者基幹相談支援センターがおこなったヒアリング結果について報告があり、現状を共有することができた。 ・今後の相談支援体制整備について、市の方針案を共有した。 <p>【第 2 回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者基幹相談支援センターがおこなったヒアリング結果について報告があり、現状を共有することができた。 ・長岡市の方針案をもとに、現在の相談支援体制に関する思いも含め、思いや考えを共有することができた。 |

| | |
|-------------------------|---|
| | <p>【第3回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託業務について、各相談支援事業所がどのような解釈でどのような活動をおこなっているのか現状を共有することができた。また業務委託の中でも、共通認識をもちやすい業務と、相談支援事業所ごとに対応や認識が異なる業務があることがわかった。 <p>【第4回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談体制を検討するには、現在の業務を整理する必要があるとの声が多くあがり、まずは計画相談業務の整理が必要との認識を参加者で共有した。 ・相談体制を整備するにあたり、行政、法人、事業所それぞれが必要な準備について、意見交換をおこなった。 ・相談支援事業所職員の業務量が多い現状があり、「相談支援に携わっている職員がバーンアウトしないように、また数年後には相談支援に従事する人が働きやすい環境になるようにどうしたらよいかをこの相談体制部会で考えていく」という共通認識をもつことができた。 <p>【第5回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画相談支援の現状と課題を共有した。 ・計画相談業務の負担感の1つとして、モニタリング月の偏りをあげる声が多く聞かれるため、モニタリング月を変更した場合の業務量はどのように変化するのか、資料をもとにシミュレーションをおこなった。 |
| <p>今後の検討の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・部会で検討した内容が第5期障害福祉計画に反映できるような段取りで、相談支援体制を検討していく。 ・相談支援体制全体を検討するには、まず現在業務の大部分を占めている計画相談業務の整理をおこなわないと、新しいことを検討、取り入れる余裕もないため、計画相談業務の整理から始める。まずはモニタリング月の見直しをおこない、その後は新規ルートの整理をおこなう予定。 |
| <p>運営会議への 伝達事項等</p> | |